

シリーズ

埼玉の隠れた銘品百選

⑫

ステンドグラス (株式会社ステンドグラスバロック)



JR軽井沢駅北口

教会の中に入ると色彩豊かに輝くステンドグラスに目を奪われる。ヨーロッパ旅行の思い出として鮮明に残るワンシーンである。

その製法を日本に広めたのが社長の白井定一氏である。いまは、教え子の職人10名ほどを率いて、ガラスと鉛に向かって丹念に取り組む。JR軽井沢駅、新千歳空港、宮崎空港など日本各地の公共・民間施設で、その空間を彩るアクセントとして来場者の注目を集め、カメラに収められている。



小さな店舗や個人の住宅向けにも、すべてオーダーメイドで作品を手掛ける。「依頼主のイメージを聞いて、感動する作品に仕上げること」に苦心を重ね、「それが至上の喜び」と語る白井氏。世界の銘品を、ご自宅で楽しむのも



幸せではないだろうか。床や壁に投影された色鮮やかな光線が、時間とともに移りゆくのを眺めるのもまた味わい深い。



■株式会社ステンドグラスバロック

1975年 横浜・元町にてステンドグラスの制作を開始

1983年 長野県旧軽井沢銀座にギャラリーを開設

代表：工芸家 白井定一

本社・工房・ギャラリー：〒331-0054 さいたま市西区島根 206 番地

TEL: 048-778-8071

<https://www.baroque-web.com>

(白銀支店取引先)